

情報 掲示板



お申込み・お問い合わせは
障害者生活支援センターまで！

よしみち

《年間スケジュール》

2019年4月	19日(金)
5月	17日(金)
6月	21日(金)
7月	19日(金)
8月	16日(金)
9月	20日(金)
10月	18日(金)
※ 11月	8日(金)
12月	20日(金)
2020年1月	17日(金)
2月	21日(金)
3月	13日(金)

よしみちは、障害のある大人の方が、通所後等に
ちょっと寄れる場所として、ボランティアグループ
「小さな手」が月に一度開催しているサロンです。

＜参加費＞200円

＜内容＞カラオケ・ゲーム等。趣味のものを持って
きて好きな事をしてOK

＜お申込み＞0467-85-5520(障害者生活支援センター)

★キャンセルは前日までにお願いします。

開催に協力いただけるボランティアさんも募集して
います。

ご興味のある方はご連絡ください！ ※11月は変更の可能性あり。事前にご確認ください。

ご利用ください！ 障害者生活支援センター

☎0467(85)5520 / FAX 0467(85)9651 / ✉shougai-center@shakyo-chigasaki.or.jp

障害者生活支援センターでは、在宅で生活される障害のある方やそのご家族など様々な方から
のご相談をお受けしています。相談はすべて無料です。どんなことでも構いません。お気軽にご
相談ください♪

- 総合相談
- サービス利用計画の作成（ケアプランの作成）
- 専門援助相談

★理学療法相談（からだの相談）

理学療法士がご自宅に訪問し、体の状態をみながらご相談にのり、その方にあった体操やリ
ハビリの方法などをアドバイスします。（申込制＝日時は調整します）

★住宅改修相談（お住まいの相談）

お住まいの生活しづらい場所など、建築士、理学療法士がご自宅を訪問してご相談にのり、
身体機能にあった改修をご提案します。（申込制＝日時は調整します）



障害者生活支援センター通信

～第16号～

2019年4月15日発行

「障害者生活支援センター通信 きらきら」は、障害者生活支援センターの活動や、
行ったイベントなどの報告、周知を目的に発行しています。

～目次～

★市民ふれあいまつり C-WAVE 茅和輪 ご報告！

★今更聞けないでも知りたい支援のキホン 研修報告

★～LINE@ はじめました！～

★情報掲示板 2019年度「よしみち」スケジュール

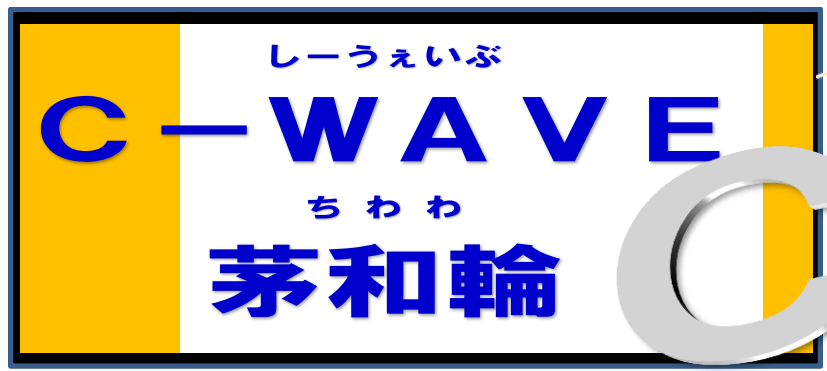
発行

社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会 障害者生活支援センター

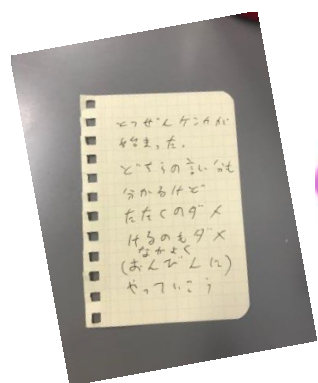
〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町13-44 さがみ農協ビル2階

TEL 0467(85)5520/FAX 0467(85)9651

E-mail shougai-center@shakyo-chigasaki.or.jp ホームページ <http://www.shakyo-chigasaki.or.jp>



C-WAVE 茅和輪は、障害のある方も無い方も誰もが安心して暮らせる茅ヶ崎市を目指すべく、皆さんに障害について少しでも考えてもらうために、毎年秋の市民ふれあい祭りに参加している団体です。メンバーは障害当事者と、施設や相談窓口の職員など支援者です。平成29年度まで、茅ヶ崎市自立支援協議会社会参加支援部会のサポートを受け活動をしてきました。平成30年度に部会が再編成され、メンバーと支援者として話し合いを重ね、11月3日の市民ふれあいまつりでステージ発表を行いました。多くの関係者の協力により当事者活動を支援する仕組みを作りたいと考えておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております！



歌詞はみんなで考えて
持ち寄って
話し合いながらつくりました！



おそろいの蝶ネクタイ
かっこいいですね！
みんなで折った手作りです！

♪ 歌詞（坂本九さんの「明日があるさ」の替え歌です）♪

1番 (みんなで歌う)

明日があるさ 明日がある
若い僕には夢がある
いつかきっと いつかきっと
わかってくれるだろう
明日がある 明日がある
明日があるさ

3番 (3人で歌う)

突然ケンカが始まった
どちらの言い分も分かるけど
叩くのはダメ 蹴るのもダメ
仲良くやっこいこう
明日がある 明日がある
明日があるさ

2番 (3人で歌う)

施設を変えた奴がいる
施設に残った俺がいる
ひとそれぞれ ひとそれぞれ
自分に言い聞かす
明日がある 明日がある
明日があるさ

4番 (3人で歌う)

みんなでルールを守って
気持ちの良い職場にしよう
相手のため 自分のため
ゆっくりがんばろう
明日がある 明日がある
明日があるさ

5番 (みんなで歌う)

明日があるさ 明日がある
若い僕には夢がある
いつかきっと いつかきっと
わかってくれるだろう
明日がある 明日がある
明日があるさ



今さら聞けない…でも知りたい支援のキホン 触法障害者の地域生活支援

～その実状と、支援機関・団体について～



【講師】神奈川県地域生活定着支援センター センター長 山下 康氏

茅ヶ崎地区保護司会 会長 鈴木 久夫氏

2019年3月11日（月）専門職向け研修として研修会を開催し、25名の方が参加されました。山下様からは、司法福祉をめぐる動きや刑事司法分野におけるソーシャルワークの役割、再犯防止推進計画について、また、トータルな支援の全体像（現状と望む形）について等、幅広くご講義をいただきました。鈴木様からは、事例を交えて保護司の役割について、詳しく分かりやすいご講義をいただきました。

どちらのご講義も内容が濃く、参加者からは「社会内処遇の難しさへの理解が進んだ。多くの支援施設がある事を知った」「自分が関わっているケースでは重大な罪が過去ある方はいないが今後関わっていく可能性があるという意識が出来た」「あまり聞く事が無い内容であったので知る事が出来て良かった」「本で触法者の行くところが無く再犯を繰り返す事、知的障害者が多いことなども知っていたので興味があり、どうしたらいいのかと思っていた」「触法障害者や触法少年が地域で暮らす事、取り組みや今の動きが知れてよかった」「どうしても書面上で最初は判断してしまいそうになるが、その方の背景をきちんと把握し『本人』ときちんと向き合い支援に取り組んでいきたいと思う」また、「お話をもう少しじっくりお聞きしたかった。第二弾をお願いしたい」との感想もいただきました。山下様、鈴木様、貴重なご講義をありがとうございました。



LINE@やっています！



ボランティア情報や障害者生活支援センターのイベント情報など、市社協の情報を配信します！ボランティア情報や障害者生活支援センターのイベント情報など、市社協の情報を配信します！

LINEの友達追加画面を開き、右のQRコードを読み込むか、ID【@chigasaki-shakyo】を検索して、ご登録ください。

登録してね♪



※登録前に利用要領を必ずご確認ください。